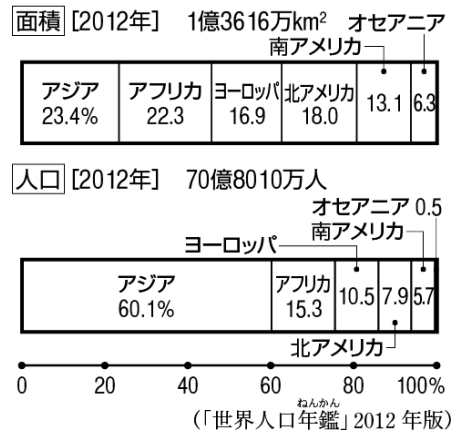


世界から見た日本の姿 ～世界から見た日本の人口～ 活用編

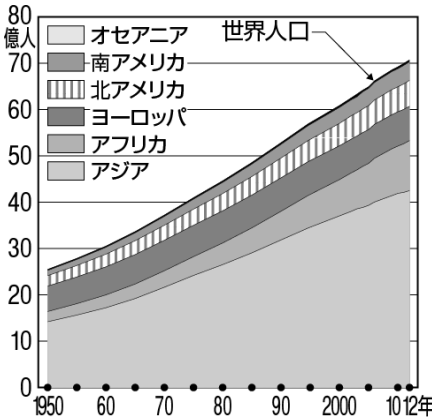
☆教科書，資料集などを使い，問題を解いてみよう！

世界の人口分布と変化

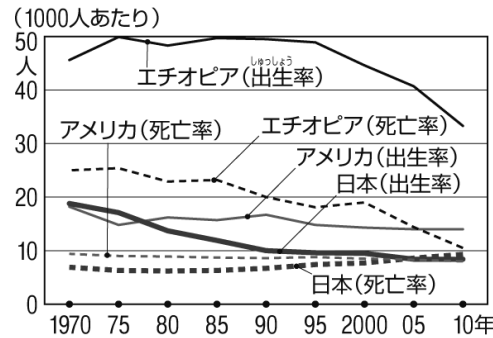
【資料 1】地域別の面積と人口の割合



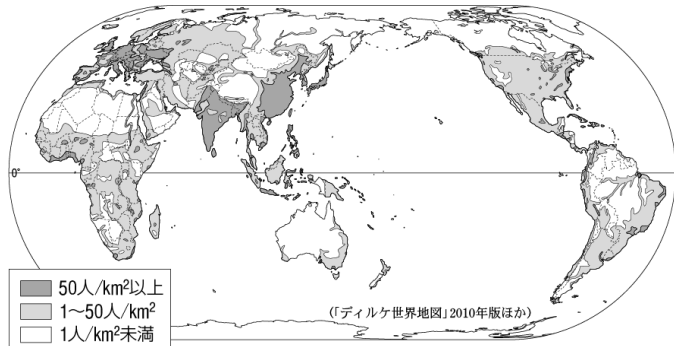
【資料 2】地域別人口の移り変わり



【資料 3】主な国の出生率と死亡率の変化



【資料 4】世界の人口密度



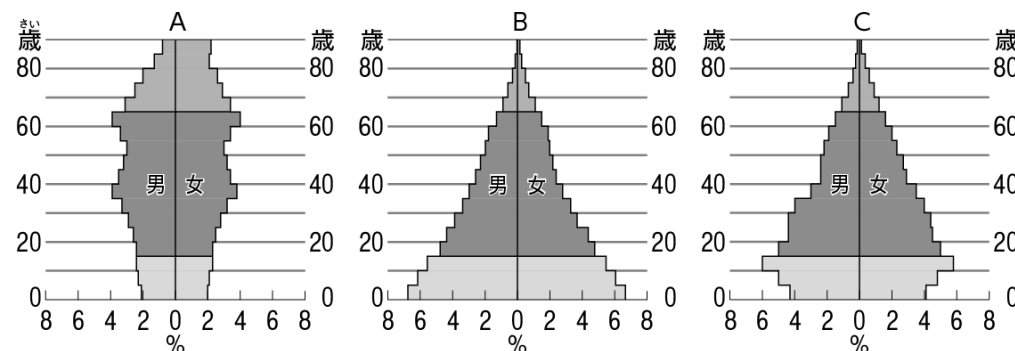
◆【資料 1】～【資料 3】から読み取れる内容として適切なものを，次のア～エから一つ選び，記号で答えなさい。
(答. イ)

- ア 世界の州ごとの人口密度が，最も高いのはアフリカ州である。
- イ アジアとアフリカでは，1950 年から 2012 年までに人口が約 2 倍以上に増えている。
- ウ アメリカは死亡率が出生率を上回っているので，人口が減少していることが分かる。
- エ 最も人口が多いのはアジア州だが，近年は人口が減少している。

◆【資料 4】を見て，人口密度が低い地域の自然環境の特色を，説明しなさい。
(答. 寒帯や乾燥帯など，自然条件が厳しい)

日本の人口と過疎・過密問題

◆次の資料 A～C は，それぞれ日本の 1935 年，1960 年，2010 年の人口ピラミッドである。日本の人口ピラミッドはどのように変化したか，A～C を年代順に並べかえなさい。
(答. B → C → A)



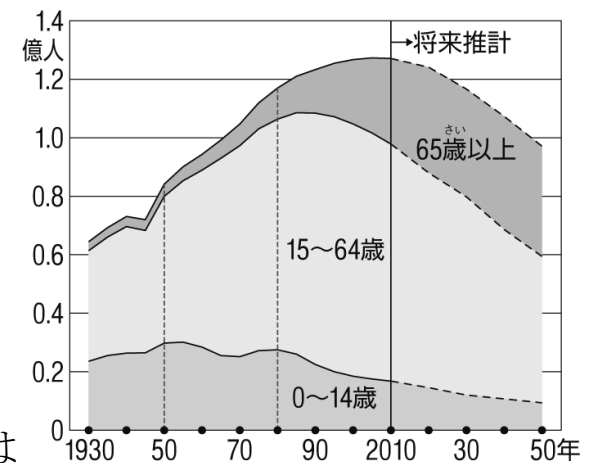
◆A～C の人口ピラミッドは，それぞれどのように呼ばれるか。

A (つぼ型) B (富士山型) C (つりがね型)

◆右の【資料 5】から読み取れる内容として適切でないものを，次のア～オから一つ選びなさい。
(答. オ)

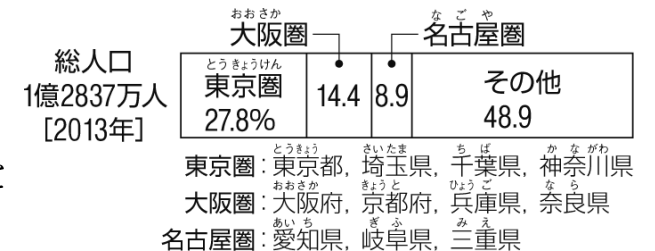
- ア 1940 年代後半の「ベビーブーム」以降，経済成長や医療の発達などの影響もあって，近年まで人口は増加し続けてきた。
- イ 1950 年から 1970 年代にかけて，15～64 歳の年齢層がいちばん増加した。
- ウ 1980 年を過ぎたころから，高齢化と少子化が進み始めた。
- エ 2010 年以降は人口が減少し，2050 年には人口が 1 億人を下回るという推計になっている。
- オ 2050 年から人口が増加に転じると予想されている。

【資料 5】日本の人口の移り変わり



◆右の【資料 6】から，三大都市圏には日本の人口の約何割が集中しているか，整数で答えなさい。
(答. 約 5 割)

【資料 6】三大都市圏への人口集中



◆右下の【資料 7】の A・B は，過密地域と過疎地域の人口ピラミッドである。過疎地域の人口ピラミッドを，A・B から選び，記号で答えなさい。
(答. B)

◆過疎地域では，人口の減少と高齢化が進んだ結果，どのような問題が起こっているか，「経済活動」「公共交通機関」「地域社会」という語句を使って，説明しなさい。

経済活動がおとろえ，公共交通機関がなくなるなど，地域社会を維持する機能が弱くなる。

【資料 7】過密地域（埼玉県川口市）と過疎地域（埼玉県東秩父村）の人口ピラミッドの比較

